

三田小学校 保健室経営計画

学校教育目標

主体的・創造的な子どもを育てる

学校経営方針（保健安全に関するもののみ）

- ・児童一人一人の実態や発達段階に応じた体力づくりと明るく健康的な生活を営む態度の育成を目指すため、身体計測や新体力テスト、生活習慣調査などを生かした指導計画を作成し、指導法の工夫に努める。
- ・自己の体力・体格・健康についての関心を高め、朝の時間や業間での自由運動・遊びを通し、心と体の健康の保持増進が図られるようにする。さらに、日常の生活指導、安全指導、安全管理の強化を図り、学校事故絶無を期する。

学校保健目標

保健教育を充実し、健康な日常生活をおくるための知識と行動力を身につけさせ、健康を保持増進できる態度や習慣を養う。

重点目標

- ・健康生活を営むための環境の整備と充実を図る。
- ・自分や友達の色を知り、大切にすることを育てる。

児童の主な健康課題

- ・生活環境の変化や屋外での活動が減り、体力が低下している。
- ・肥満傾向児童（肥満度20%以上）が、全体の〇〇%いる。
- ・環境の変化により生活習慣の乱れが見られると共に、心理的ストレスが、身体症状となって現れ来室する児童もいる。

保健室経営における重点活動

評価の視点

健康管理

- ・健康診断の計画的な実施と事後指導の徹底。
- ・宿泊行事は事前健康調査を実施し、児童の健康状態の把握、健康診断を実施、事故防止に努める。
- ・感染症の早期発見・拡大防止に努める。
- ・保健室来室者への適切な対応と来室状況の把握。

- ・計画的な実施と事後指導ができたか。
- ・健康診断を通して、健康状態を把握し、全職員で共有できたか。

保健指導

- ・健診や行事の前で保健指導を行い、児童が主体的に健康管理ができるように支援する。
- ・学級での保健指導ができるよう、学年と連携を図り実施する。
- ・保健だよりを通して学校での健康課題について情報発信し、健康に対する意識向上と知識の定着ができるように支援する。

- ・指導内容は児童の実態に応じていたか。
- ・指導の結果、児童の予防行動や健康行動につながったか。

組織活動

- ・学校保健委員会の開催、児童保健委員会の充実を図る。
- ・児童が主体的に取り組めるような委員会活動を支援する。

- ・児童主体の保健委員会活動であったか。

教育相談

- ・来室する児童の身体的・精神的訴えを受け止め、心と体へのケアを充実する。
- ・S Cと連携を密にするとともに、担任や学年との情報交換・情報共有を充実させる。

- ・教育相談の役割は果たせていたか。
- ・担任や学年、S Cと連携し、支援することができたか。

環境整備

- ・学校生活を安全に送れるように、校内点検と定期検査を行う。また、学校薬剤師と連携をとる。
- ・校内の安全点検を行い、問題点の早期発見・改善に努め、事故を予防する。

- ・学習に適した環境であったか。
- ・校内の安全・衛生は保たれていたか。

保健室経営の改善点

- ・健康診断への児童の意識向上を図るため、事前事後の指導を充実させる。
- ・学校での起こりやすいけが、感染症流行状況などはこまめに学校全体へ発信し予防喚起する。
- ・応急処置や救急体制の共通認識を図るため、こまめに教職員や保護者へも対応について呼びかけ、協力体制を充実させる。